

# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第11号

令和2年(2020年) 9月8日(火)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

## 【ペットボトルキャップのお礼】

前号で、『ペットボトルキャップをワクチンに!』という記事を掲載したところ、さっそく地域の方から多くのペットボトルキャップが寄せられました。大変ありがとうございました。

## 第46回体育祭を『創る』

校長 秋本 泰宏

第46回 錦中学校体育祭 スローガン

ひ 燃やせ 魂  
陽 輝け 笑顔

9月になって、夏の日差しが少し和らぐ4時過ぎ。私はいそいそと花壇の草取りに興じます。実はこの時間が、2学期になってからの私の至福の時間です。それは、花壇の中に身を埋めて静かに耳を澄ませていると生徒たちが体育祭を『創る』声が聞こ

えてくるからです。

ピロティからは応援団の自分の隊をいかにまとめるかの作戦会議、グラウンドからは、別の応援団による「ふれふれコール」や演技系の笛の音…。生徒たちが考えた体育祭はどのような形で実を結ぶのか想像するだけで楽しくなります。

倉本聡さんのエッセー『テレビの国から』の中に、『作る』は、前例に倣ってつくること、『創る』は、知恵を絞って前例にないものをつくることと、あります。一見、体育祭は毎年開催される行事のため、ある意味前例に倣って『作る』ものにとらえられがちです。しかし、第46回錦中学校体育祭は今年だけのものであり、3年生も初めてリーダーとして臨む体育祭です。生徒会のスローガンづくりからはじまり、夏休みから覚えたダンスをいかに後輩たちに伝えるかなど、どの場面も知恵を絞らなければならないことばかりです。



3年生によるダンス指導



熱中症対策に噴霧器登場!

実は教職員も生徒に負けず、知恵を絞って、第46回体育祭を創っています。例えば、新型コロナウイルス感染拡大防止のため午前中開催としました。そのため、プログラムを削らなければならないのですが、いかに生徒の活動する場面を残すかなど知恵を絞りました。また、熱中症予防のために、練習を一部午前中に実施したり、噴霧器でミストを発生させたりするなど、知恵を絞っています。

地域の方や来賓の方には、大会当日を応援していただくことができません、大変残念ですが、日々の練習で疲れてはいるけれど充実した顔で下校する生徒の表情でご賢察ください。

## 授業の様子（1）『道徳』

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、1学期は授業を公開することがほとんどありませんでした。そのため、7月に実施した保護者の学校評価では、「わからない」という回答が例年より多い結果となりました。そこで、授業の様子や取組をこの『かけはし』で、できる限りお伝えできたらと思っています。（学校評価の結果と考察については、後日お知らせいたします。）

道徳は、学習指導要領の改訂により、特別の教科になりました。特別の教科「道徳」では、子どもたちの発達段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人ひとりの生徒が自分自身の問題として捉え、「考える道徳」、「議論する道徳」をめざしています。

### （1）グループを活用して考えを表出しやすくする

9月2日の3年生の道徳は『新しい夏のはじまり』という教材でした。この教材は、男の子のさりげないやさしさと終末に過去を否定せず未来へ向けて歩き出す女の子がよく描かれていて、3年間部活動に取り組んだ生徒にとって共感性の高い教材でした。

一方、共感性の高い教材は、年齢が高くなるにつれて、自分の意見を表出するのが難しい教材とも言えます。それは、共感性が高いと、自分に重ねてしまうため自分を皆の前で表現する気恥ずかしさが邪魔をします。

そこで、担任の先生は、全体で発表する前に、近くの人と自分の考えを表出する場を設定しました。この授業は、大きく三つの問いかけで構成された授業でしたが、それぞれの問いかけの後にこのような場面を設定することで、その後の全体での発表の場では、自信をもって発表する生徒の姿を見ることができました。

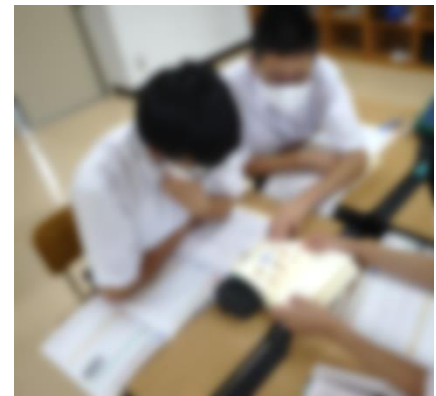


近くの人と自分の考えを伝え合う（3年生）

### （2）補助資料を用いて生徒の興味・関心を高める

9月3日の2年生の道徳は『「自分」って何だろう』という教材でした。この教材は、『ブッタとシッタカブッタ』という4コマ漫画と、『目に見えないけれど大切なもの』という二つの資料が使われています。

この日の授業では、担任の先生が補助資料として『ブッタとシッタカブッタ』の書籍を用意して教科書以外にも共感できるものをグループで探しました。このように補助資料を有効に使い、生徒の興味・関心を高めることが、生徒の思考を高めたり、深めたりすることに有効な手だてとして活用しています。



参考となる資料を読む（2年生）

### （3）考えが整理できるように構造的な板書をする

9月3日の1年生の道徳は『二人の約束』という教材でした。この教材は、ストーリー性が高く、二人の女子生徒の言動から自分の考えをまとめていかなければなりません。

登場人物の気持ちの変化や象徴的な行動から考えを整理する場合、板書は大変有効です。構造的な板書によって、考えをまとめたり、他の人の意見に対して同意する意見や対立する意見を述べやすくなったりします。



整理された板書（1年生）